

快適なスライド作り



Google Slides でスライドを作ってきたが、管理しづらいと思っていた

つらみ

- 誤りがあったときに編集→PDF 変換しなおす手間がかかる。（閲覧が便利なのでPDF で保存している）
- スライドがあちこちにバラバラにあって、どこかにいってしまう

これらを解決したい

そもそもなぜスライドにするか？

なぜスライド？

- 読む側が最小限の時間 / 労力で把握できる
 - 読んでもらうためには数分ですぐ理解できなければならない
 - 本を読み通せるのは、作者と出版社の信用と努力があるから
- 制約が生み出す表現の洗練
 - 文字数の制約のなかで、いかに整理して直感的に伝えるか？を考えるのを強いられる
 - 話すつもりで本当に理解しているかをチェックできる

これらを踏まえて、スライドツール
には何が必要か？

スライドツールに求めること

- WYSIWYG ができる
 - 画像の再配置 / 縮小拡大をやりたいから
- 再編集しやすい
- コマンドラインで PDF にエクスポートできる
 - スライドを変更するたびに再エクスポートを手動でしたくない
 - PDF は配信に便利である
- 元データをローカルに保存できる (Git 管理できる)
 - コマンドラインや CI を自由に設定できる
- Linux から利用しやすい
 - 使用マシンが Linux だから

これらを満たすアプリケーション：

- LibreOffice Impress
 - オープンソースのスライドツール
 - コマンドラインで変換などが使える

作成から公開の流れ

1. スライド作成、保存 (ODP)

※ LibreOffice の標準フォーマットは ODP

2. コマンドラインで変換 **\$ libreoffice --convert-to pdf *.odp**

3. 生成した PDF, 元ファイル ODP をコミット

4. GitHub Pages で PDF ビューワとともに配信

まとめ

- スライド作成を快適に行えるようになった。さらにたくさん作成していきたい